

分類：臨床医学Ⅱ

授業科目名：耳鼻・咽喉・口腔（Otorhinolaryngology）

対象学年：3年次必修

時間割コード：71633019

開設学期等：第20週～第25週（毎週金曜日1-10時限）

単位数：1

1. 主任教員

山田武千代（教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168）

2. 担当教員

山田武千代（教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6168）

八月朔日泰和（教授、細胞生物学、6056）

板東良雄（教授、形態解析学・器官構造学、6053）

南條博（病院教授、病理診断科、6182）

高野裕史（病院准教授、歯科口腔外科、6187）

鈴木真輔（准教授、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6169）

川寄洋平（講師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

小泉洸（助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

飯川延子（助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

椎名和弘（助教、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、6171）

中澤操（非常勤講師、秋田県立リハビリテーション精神医療センター）

高橋辰（非常勤講師、高橋耳鼻咽喉科眼科クリニック）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

耳鼻咽喉科・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

- 1) 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。
- 2) 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。
- 3) 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。
- 4) 喉頭の機能と神経支配を説明できる。
- 5) 平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。
- 6) 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。
- 7) 聴力・平衡・味覚・嗅覚機能検査を説明する。
- 8) 滲出性中耳炎、急性中耳炎、慢性中耳炎の原因、診断と治療を説明出来る。
- 9) 伝音性・感音性・後迷路性・中枢性難聴の病態を鑑別できる。
- 10) 末梢性めまいと中枢性めまいの鑑別と治療を説明できる。
- 11) 鼻出血好発部位と止血法を説明できる。
- 12) 副鼻腔炎の病態と治療を説明できる。
- 13) アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。
- 14) 扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。
- 15) 喉頭癌の症候、診断と治療を説明できる。
- 16) う蝕と歯周病を説明できる。
- 17) 気管切開の適応を説明できる。
- 18) 鼻副鼻腔、口腔咽頭の悪性腫瘍を概説できる。
- 19) 各部位の異物と除去法を説明できる。
- 20) 顔面頸部外傷の症候と治療法を説明できる。
- 21) 唾液腺疾患と診断法を説明できる。

4. 教科書・参考書

TEXT 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(南山堂)、 新耳鼻咽喉科学(南山堂)、 Otolaryngology-HeadandNeck Surgery(The CV Mosby Company), Clinicalneurophysiology of the vestibular system, 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(医学書院) 他

5. 成績評価の方法

統一試験、形成試験、レポート、出席、授業態度

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学は、今や国民病と言われる花粉症、2人に1人となったアレルギー性鼻炎、国民の20%～30%が難聴。また、頻度の高い咽頭喉頭頸部などの癌を広く扱う科です。また気道(上・下とも)を扱う科です。加えて脳神経すべてを扱うため、人生の幸福やQOLと深く関係しており、学問的にも解剖学、生理学、生化学、癌研究、薬理学、統計学が重要です。実際の臨床を想定して予習と復習を行うことにより医学への興味が増強します。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月30日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：頭頸部の組織学 感覚器を中心とした組織学を学ぶ。	八月朔日 泰和	医学系研究 棟4階6講 義室
2	9月30日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：頭頸部のマクロ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の解剖を理解する。	板東良雄	医学系研究 棟4階6講 義室
3	9月30日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：耳鼻咽喉科・頭頸部外科の魅力-脳神経とQ OL改善- 脳神経すべてを扱いQOLに深く関係する疾患、癌の 治療や再建、気道を扱う重要性を知る。	山田武千代	医学系研究 棟4階6講 義室
4	9月30日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：鼻アレルギー・鼻副鼻腔疾患の病態と治療 国民病と言われる鼻アレルギーと難治性気道疾患を 知る。	山田武千代	医学系研究 棟4階6講 義室
5	9月30日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：聴覚の解剖、機能検査 聴覚の解剖と検査を理解する。	高橋 辰	医学系研究 棟4階6講 義室
6	10月7日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：喉頭の解剖、生理 喉頭の解剖と生理を理解する。	鈴木真輔	医学系研究 棟4階6講 義室
7	10月7日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：喉頭の機能と疾患を学ぶ	鈴木真輔	医学系研究 棟4階6講 義室
8	10月7日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：鼻副鼻腔、口腔解剖、気道生理を理解する。	椎名和弘	医学系研究 棟4階6講 義室
9	10月7日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：口腔、咽頭疾患、睡眠時無呼吸について学ぶ。	椎名和弘	医学系研究 棟4階6講 義室
10	10月7日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：頭頸部外傷の症例について病態を理解し、治 療法について学ぶ。	飯川延子	医学系研究 棟4階6講 義室
11	10月 14日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：頭頸部癌の診断と治療 1 喉頭癌・甲状腺癌	鈴木真輔	医学系研究 棟4階6講 義室
12	10月 14日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：頭頸部癌診断と治療 2 上・中・下咽頭癌	川寄洋平	医学系研究 棟4階6講 義室
13	10月 14日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：前庭系の解剖、検査を理解する。	小泉 洸	医学系研究 棟4階6講 義室
14	10月 14日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：聴覚の解剖、機能検査を知る。	小泉 洸	医学系研究 棟4階6講 義室
15	10月 14日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：難聴への対応 特に小児難聴への対応を理解する。	中澤 操	医学系研究 棟4階6講 義室
16	10月 21日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：頭頸部癌の臨床病理と組織・病理診断、癌の 病態について理解する。	南條 博	医学系研究 棟4階6講 義室
17	10月 21日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：症例発表の準備 2つの疾患について自主勉強し、理解する。	山田武千代	医学系研究 棟4階6講 義室
18	10月 21日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：異物症には様々あり、それぞれの病態と治療 法を学ぶ。	川寄洋平	医学系研究 科棟4階6 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
19	10月21日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：嚥下障害の原因と病態、治療について理解する。	川寄洋平	医学系研究科棟4階6講義室
20	10月21日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：唾液腺疾患の診断と治療を深く理解する。	飯川延子	医学系研究科棟4階6講義室
21	11月4日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：う蝕と歯周病の病態と治療について理解する。	高野裕史	医学系研究科棟4階6講義室
22	11月4日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：難聴をきたす代表的疾患と治療について理解する。	山田武千代	医学系研究科棟4階6講義室
23	11月4日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：顔面神経障害の病態と治療について学ぶ。	椎名和弘	医学系研究科棟4階6講義室
24	11月4日 (金)	7-8 時限	全体討議	テーマ：症例発表 症例を発表、全体で討論する。	山田武千代	医学系研究科棟4階6講義室
25	11月4日 (金)	9-10 時限	講義	テーマ：形成評価を行う。 主に筆記試験	鈴木真輔	医学系研究科棟4階6講義室